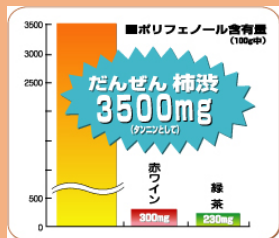


様々な口腔疾患への予防・改善に！ ※天然成分で安全・安心なものを使用したい
※診療室内でもホームケア用としても口腔環境維持に貢献できる

古来から親しまれ特に柿渋タンニンは柿渋ポリフェノールともいわれ抗酸化作用や抗菌作用、
抗炎症作用が強く、タンパク質を凝集させる収斂作用などで歯肉を引き締め、歯周病菌などを
タンパク凝集作用で殺菌作用をもたらす菌の活動が抑制されインプラント周囲炎・虫歯菌
カンジダ症にも有効で口内炎などは非侵襲に炎症部位はタンパク皮膜で外的要因から保護されて
早い緩和が得られるなど、医院内でも効果的なご使用をお勧めします。

天然素材のパワー

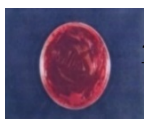
Persimmon タンニンとは何？



ポリフェノールの含有量はそれぞれ100g中に
緑茶230mg、赤ワイン300mgです。
柿渋5300mg、なんと10倍以上たっぷりと
含まれております。
ほかにカテキン・フラボノイド・アントシアニン
などを含む高分子の複合体です。

歯周病菌の殺菌作用があります。

検体希釈液に歯周病菌のPorohyromonas gingivalisの
菌液を接触後25℃で保存し、
30分後に試験液中の制菌を測定しました



シャレー培地の汚れた色が消えてなくなり菌
の無毒化で菌繁殖が出来なかった。



齲蝕原因菌・カンジダ菌の殺菌作用があります。

溶液の各種微生物に対する抗菌活性試験

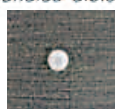
Streptococcus mutans ATCC 25175



培養後菌の発育が
阻止されました。

溶液の各種微生物に対する抗菌活性試験

Candida albicans ATCC 10231



口臭・消臭・殺菌効果

柿に含まれるカキタンニンは大きな構造式を持つ
縮合型タンニンで数多くのフェノール性水酸基

(-OH基)と各種悪臭成分が科学的に結合して、

消臭効果を発揮するものと考えられています。

おやすみ前に柿渋ジェルを歯や口腔内に塗布して
なじませて、気になれば唾液を捨てそのまま就寝
ください。寝ている間に菌の繁殖を抑え静菌、殺
菌されて翌朝歯を磨いてください。

柿渋persimmonジェルは低粘性のスムーズなジェルのためお口のすみずみまで届き隠れた細菌など齲蝕や歯周病対策に効果を発揮し、入れ歯装着前に入れ歯の内面に塗布されることでカンジダ症抑制効果とさらに消臭が困難とされる口臭の元となる硫黄系悪臭成分の硫化水素やメチルメルカプタンと科学的に反応して消臭効果をもたらします。

口腔ケア用ジェルの使用方法
寝ている間に口腔環境改善
①口内に塗った後そのまま寝る
・義歯の方、床矯正粘膜ただれ
・気になる部位・粘膜マッサージ
・口内炎・口臭防止
翌朝に歯をみがきうがいします

②仕上げみがきの勧め
今までの歯みがきの後に
パーシモンジェルを全体に塗布
うがいを省ける
気になれば唾液をすてる

文献 診療と新薬2019;56:694-697
柿渋ジェルの口腔病原性微生物に対する抗菌活性
診療と新薬2020;57:123-128
柿渋ジェルによる航空疾患への臨床効果

カキタンニンの消臭率

